

平成 30 年 2 月 27 日

各 位

会 社 名 T D C ソフト株式会社
 代表者名 代表取締役社長 谷上 俊二
 (コード番号：4687 東証一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 大垣 剛
 (TEL：03-6730-8111)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、本日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ平成 29 年 5 月 9 日に公表した平成 30 年 3 月期通期業績予想及び配当予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,800	百万円 1,790	百万円 1,800	百万円 1,140	円 銭 94.64
今回修正予想 (B)	23,900	1,850	1,880	1,230	102.12
増減額 (B - A)	100	60	80	90	—
増減率	0.4%	3.4%	4.4%	7.9%	—
(ご参考) 平成 29 年 3 月期 通期連結実績	22,991	1,645	1,690	1,165	96.75

2. 平成 30 年 3 月期配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成 29 年 5 月 9 日発表)	—	—	—
今回修正予想		35 円	35 円
当期実績	0 円		
前期実績 (平成 29 年 3 月期)	0 円	32 円 (普通配当 30 円) (記念配当 2 円)	32 円 (普通配当 30 円) (記念配当 2 円)

(注) 前期実績につきましては、当社の創業 55 周年を記念した記念配当 2 円が含まれております。

3. 修正の理由

当社グループは、平成 28 年 4 月から平成 31 年 3 月における中期経営計画のもと、「お客様から最も信頼されるパートナー企業の実現」を目指し、現行ビジネスを拡大するとともに、将来に向けた新規ビジネスの創出、これらを支える企業基盤等様々な分野において、人材、知財への投資を積極的に取り組むことを基本戦略に掲げております。

これに基づき、当期より本格的に開始した「AI・データサイエンス分野」、「アジャイル開発・マイクロサービス分野」、「セキュリティビジネス分野」等の取り組みは順調に推進しており、グループの総力を挙げた企業価値向上に努めております。

このような状況の中、売上高につきましては、堅調な受注環境の中、アプリケーション開発分野、ソリューション事業分野ともに当初の計画を上回るペースで推移したことにより、前回発表予想を上回る見込みです。

利益面につきましては、投資活動の本格化に伴い販売管理費が増加するものの、PMP^(注1)や CMMI^(注2)の成熟度レベル 3などをベースとした当社グループ独自の品質マネジメントシステム「TQS」^(注3)に基づくプロジェクト管理の徹底により採算性が向上しました結果、前回発表予想を上回る見込みです。

また、当社は経営基盤の充実と財務体質の強化を通じて企業価値の向上を図るとともに、株主に対する積極的な利益還元を行うことを基本方針としております。当期の配当予想につきましては、平成 29 年 5 月 9 日公表において未定としておりましたが、上記方針に基づき、当期の業績を総合的に勘案しこれまでの株主の皆様のご厚誼と日頃のご支援にお応えするため、当期の 1 株当たり期末配当予想につきましては前期実施した創業 55 周年記念配当 2 円を含めた 32 円と比較して 3 円増配し、35 円とすべく、平成 30 年 6 月 28 日に開催予定の当社定時株主総会に付議する予定であります。

(注 1) PMP® (Project Management Professional)

PMI が主催するプロジェクトマネジメントに関する資格。プロジェクトマネジメントに関する国際標準的な資格として広く認知されており、多くの業界から注目されております。

(注 2) CMMI® (Capability Maturity Model Integration)

米国カーネギーメロン大学が開発したソフトウェア開発プロセスの能力成熟度モデル。当社はソリューション事業部とエンタープライズビジネスユニットにて、レベル 3 を達成しております。

(注 3) TQS (TDCSOFT Quality Management System)

国際規格/標準である ISO9001、PMBOK®、CMMI®をベースに 55 年を超える当社の技術力及びマネジメントノウハウを注入し、プロジェクト管理、品質管理、システム開発技術の要素を備えた品質マネジメントシステム。この TQS を根幹に組織の各階層におけるマネジメントを的確に実施することで、お客様の信頼にこたえるプロジェクト品質の提供を実現しています。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社グループとしてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。